

セレブ達の罠

男を人間便器にする恐ろしいAV制作

顔騎倶楽部

SenYume

あつ…ごめんなさい。背中が痛い？
辛かったら言ってね。ちゃんと加減するから。

あつ…ちよつと痛いですが。
でも…頑張りますので。

私のお尻臭くないかな？
もし臭かったらちよつと息を止めていてね。

みんなお疲れ様。良い写真が撮れたよ。
もう楽にして！ミオも足をどけてあげて！

ここはとあるスタジオ。楽しそうな女性たちの声が響き渡っていた。
美しい女性に踏まれている男の名前はミチル。ソフトなMプレイが大好きだ。

彼はM男性としてAVに出演するため、この場所を訪れていた。
想像を遥かに超えた綺麗で優しい女性達に感動していた。



大丈夫だった？結構つらそうにしてたから心配。
もし後で痛みが出たらすぐに相談してね。

ありがとうございます。これでよかったですか？

写真撮影は初めてだったんだね。
慣れないことをさせてごめんね。



男が出演する予定だった映像作品はもちろんソフトめな内容だったが、同時に撮影する予定だった別作品の男優の到着が遅れているそうだ。

そこで早くに到着していた彼に白羽の矢が立ったというわけだ。
美しい二人の女性と写真が撮れるなんて思ってもみなかった。

踏まれるのは人生で初めてだったが、この二人ならアリだろう。
しかし男優が到着したら、もうこの女性達とはお別れだろう。

それじゃ：私達はそろそろ行くね。
なんかあったら連絡してね。

ほんとに遠慮しなくていいからね。
また会えるのを楽しみにしているわ。

お二人さん：やる気のところ申し訳ないんだけど：彼、今日は来れないって：
：それが、ミチル君：もしやる気があるなら：彼女たちの作品に出てみない？






急な話に驚くミチル。しかし良い機会かもしれない。
自分を高めるためにもこんな経験はありだろう。

優しくて綺麗な二人に責められるなら我慢できるかもしれない。
普段の現場なら即座に断っていたが男は熟考した。

こんなに良い環境で自分を磨くことができるのはチャンスだ。
しかし不安もある。途中でやめることはできなさそうだからだ。




ね：どうする？私はミチル君でも良いよ。
っていうか：良い顔してるから楽しみ。

うん：……私もやってみたいな。
私に虐められたくない？ふふふ♡

ギャラも多く出すし：それにできないことがあれば拒否してもいいから。
内容少し変えて、ドキュメンタリー風で作ってみようと思っっているの。



……それなら……
……やってみます……！



え！本当にやってってくれるの？ありがとう！
途中で辛かったらいつでも教えてね……！！

おっ……なかなか勇氣あるじゃん。
私の責めは苦しいぞ♡ふふ♡

ありがとう助かるわ♡それじゃ……早速撮影を始めましょう。
例の首輪持ってくるわね。ちよっと待ってもらえるかな。

ミオ

サオリ

ユメ

この部屋にいる女性達は皆、美しい。笑った表情も最高だ。赤い服を来ているのがミオさん。体は大きいがとても優しい。黒い服がユメさん。発言は過激だけど親切で明るい女性だ。そして監督のサオリさん。今日、自分をこの場所に招いてくれた女性だ。その身なりからもわかるように、何やらとても大金持ちらしい。ちよつと心配をしていたけど………金払いもいいし最高の女性だ。

数分後にサオリが首輪を持って戻ってきた。
これは健康状況をモニタリングするためのものらしい。

急な体調の変化にも気付ける最高のデバイスのようだ。
和やかに進む時間。男はこれから地獄が始まるとは思っていない。



よし…と。大丈夫？苦しくない？
一応これで装着できたと思うんだけど…

だ…大丈夫です。ありがとうございます。
えへ…へ…：…ワクワクしてきました。

よし準備万端だな。撮影よろしくな。
痛かったり苦しかったら遠慮なく言えよ。



準備が終わり隣の部屋へと移動する四人。女性は皆笑っている。
ミチルは不安と期待が混じり胸の奥がざわざわしていた。

それじゃ：始めましようね。私は監督だから：基本は見ているだけ。
どうしても辛くなったら言いなさい。帰りたくなったら帰っていいわ。


は：はい。承知しました。……
私は何をしたら良いのでしょうか？



二人の指示に従いなさい。気持ちよかったり痛かったり苦しかったり……色々あると思うけど、全て声に出していいわ。我慢はしなくていいからね。

了解しました。……
あの…カメラはどこに？





ああ：隣の部屋もそうだけど：映像用のカメラは隠してあるの。
そうしたほうが緊張しないで済むでしょう？演技とか考えなくていいからね。

はい：わかりました。
では：よろしくお願いします。

よろしく…って、普通私達に言うんじやないのかな…
ま…初めてだから仕方ないか。一から調教しましょ。

…そうね。ちゃんと教えてあげなきゃ。
私達の厳しさもしっかりね。

し…しまった。
まずい…



まずは匂い比べから始めようか。
私達の足を使った匂い責めよ。

それはいい考えね。……
ミチル！足元に来なさい！



ほら…私達の足。汗でムレムレで…
今からこれの匂いを嗅がせてあげる。

まずは仰向けになって。
私達の間に来なさい。

はいっ……!!
承知しました!

むわっ



……うっ……おえっ……
これで……よろしいでしょうか？



あら：むせるほど臭いのかしら。
まだ香りが漂っている程度でしょうか？

今からもっともっと臭くしてあげる♡
……そうだ、ちよっとゲームをしましよるか。



両手のひらを上に向けなさい。
今からそこに足を置くわね。

そう。それで足を落としたら罰ゲーム。
最後まで耐えられたらご褒美をあげるわ。

う…臭い…
けど…頑張るぞ。

それじゃ：スタート。まずはユメの臭い足からね。
酷い匂いでしょ：すぐに限界が来ちゃうんじゃないの？

ミオのネットネットの足よりはマシだと思っけどね♡
ほら：指の付け根のじつとりしたところ嗅ぎなさい。

すんすんっ…ん
うっ…うぶぶぶ…

お…おえっ…
これ…ヤバイ…

おっ：頑張るじゃん。今すぐに落としたり私がご褒美あげるよ。
ユメの足はビショビショでクサクサだからね：落としても仕方ないわ。

もしコレで落としたりしたら酷い目にあわせてやるわ。
あなたが想像できないほどの刑を執行してあげる…

うっ…うう…
ん…ん…

…落としたり…
まずいっ…

ん：次は私の番ね。顔全体を覆い尽くしてあげるわ。でも良い匂いでしょ。ユメと違って華やかな清々しい香りのはずよ。ほら：私の匂いはどう？

正直に反応していいのよ。早く落としなさい。今ならたっぷりご褒美をあげるわよ。

うぶぶっ……
んっ……んん……

……どうしたら……
良いんだ……？

ちよつと…落としたりしたら許さないわよ。それとも私の足が気に入ったのかしら？
ほら言っでござらんない。私のほうがいい匂い？ねえ…どうかしら。

私のほうがいい匂いだったでしょう？
ほらどうなのか教えなさいよ。はやく。

んんっ…んん…
んー…んっ…

…何が正解なの…
どうしたら…



……お……お二人共すごく良い匂いで……
どちらが良いだなんて選べません……

ふーん……とてもうれしそうには見えないけど信じてあげるわ。
それじゃ二人まとめて嗅いでもらおうか。できるわよね。

そうね……足裏の臭い匂いが好きだなんて変だもん。
嘘か本当か調べてあげるわ。最後まで頑張れるかな？



はい…どうぞ。
あなたの好きな足よ。

ふふふ…変なの。
こんなのが良いんだ。

んふふー…!!
うっつぷ…ぶぶ

く…苦しい…!!
臭いっ…!!



ほらほら：好きなら絶対に落とさないでしょう？
もし私達の手を落としたら大きな罰を与えるわ。

いやいや絶対に落とさないでしょ。ほら喜んでる。
そもそも好きだって言ってたし。嘘ついたら許さないよ。

く…苦しい!!
助けてっ…!!!

んー…!!!
んがっ…!!!

おっ：なかなか頑張るねえ：
これは本当に好きなのかな？

それじゃあと二十秒頑張れたらご褒美あげる。
ダメだったら：きつういお仕置きだからね。

それなら……
なんとか……

んっ：んっ……
んっ……！！



二十：十九：十八：十七：十六：
十五：十四：十三：十二：十一：
：

十：九：八：七：
六：五：四：三：



あ…あと少し…
…苦しいっ…

んっ…！！！！
んっ…！！！！



ああっ……残念っ……！
あと少しだったのに……



ああああ……！！
痛いっ……！！！！

うぐっ……！！！！
……！！！！！！！！



残念ねえ…あと二秒だったのに…
これはお仕置き決定かしら…？

そうね。約束だからね♡
お仕置き決定よ。ふふ♡

苦しい！痛い！
助けて！どいて！

うぶぶぶう！！
うううっ！！！！

え？なに？インチキだったって？
言いがかりはやめてちょうだい。

そうよ。ゲームに負けたのはあなた。
文句があるなら先に言えばよかったのに。

インチキだ！こんなの……！
く……苦しい！！助けて！！



ねえ…どうする？私はお仕置きで良いと思うけど…
もう一度チャンスをあげる？何が正解だと思う？

うーん…えーと…もう一度チャンスを与える代わりに…
次さらに失敗したら、さらにキツイお仕置きにするのはどう？





いいじゃんソレ。そうしましよ。それなら私も納得できるわ。

いい考えでしょ。これならもっと楽しめるし。それが嫌なら今すぐ罰を受けてもらおうよ。

ほら…聞いていたでしょ？どうする？
もう一度…私達のゲームに付き合おう？

それとも今すぐ辛いお仕置きを受ける？
どっちにするかは選ばせてあげるわ。

お仕置きは…嫌だ
…それなら……



このまま十秒：ユメの足の匂いに耐えられたら許してあげる。
もちろんサオリに座られたままだけけどね。どうする？

やるしかないか…
十秒なら…くっ…

私は今すぐにお仕置きを受けるべきだと思っわ。
どうせ十秒も耐えられないでしょ…？





やります！十秒耐えます！
よろしくお願ひしますっ！

そう…チャレンジするんだ。勇者だねえ…
ミオの超臭足に耐えられる？判定は私の足よ。

それじゃ始めようか。目をつぶりなさい。
二秒ならお仕置き決定。五秒で許し、十秒でご褒美よ。



さ：いよいよ挑戦ね。
頑張れるかしら：？

一秒も我慢できなかつたら：うーん：：
最上級のお仕置きにしましようにね：♡

さっきも：十秒以上は我慢できたんだ：
お腹が苦しくても：五秒ぐらい：余裕だ。

それじゃ…開始までカウントダウンしてあげようね。
始めるよ。残り五秒。五……四……三……二……

ほら匂ってきたでしょう。
さて…両足同時に行くよ。

よし……
頑張るぞ……



えいつ!

ゼロ!

.....

ああ…♡…記録は…一秒以下…？
これはお仕置き決定！！！！♡♡

おっ…つと…暴れ過ぎ！
…つとつと…危ないでしょ！





体験版を最後までお読み頂きありがとうございました。

製品版では以下のような責めが続きます。

顔騎窒息責め,おなら責め

聖水責め,黄金責め,強制食糞

残り107ページ…どうぞお楽しみください。

